


 POTEKA NETでのカメラ画像  
閲覧例


撮影用カメラ

## 「POTEKA」河川撮影の新サービスを開始

明星電気は、4月1日から気象変化に応じて撮影間隔を自動切替するカメラオプションサービスの提供を開始しました。

このサービスは気象観測データと連動して、河川などの様子を撮影する気象連動式クラウドカメラサービスです。POTEKAが捉えた気象の急変や河川水位の上昇によって、カメラの撮影間隔が1時間から10分に自動で切り替わります。カメラ画像はPOTEKAの気象観測データと同様に、POTEKA NETを通して住民の方々へ公開できます。地方自治体を中心にサービスを展開することで、一級河川のみならず中小河川も監視でき、地域の防災活動などに役立てられます。

明星電気は、このサービスにより河川の水位監視など、防災行動や状況判断の迅速化・効率化に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)



設置した危機管理型水位計

## 群馬県高崎土木事務所管内に危機管理型水位計設置

群馬県高崎土木事務所から危機管理型水位計設置工事を受注し、2月に納入しました。危機管理型水位計は洪水時の水位観測に特化しています。これまで水位計がなかった河川や、きめ細かな水位把握が必要な河川への普及を促進し、水位観測網の充実を図るために設置されています。

観測された水位情報は、危機管理型水位計運用協議会が運営するクラウドサーバに伝送され、河川管理者、住民の方々はインターネット上のWEB画面で観測値を閲覧することが可能です。スマートフォンからも接続することができるため、外出先でも簡単に閲覧できます。

明星電気はこれからも皆さまの安全・安心な生活に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)


 風船とともに  
放球されるIMS-100(中央)

## ラジオゾンデを芸術に利用！

2021年9月4日～10月24日に石川県珠洲市全域を会場として、「奥能登国際芸術祭2020+」が行われます。環境をテーマにした作品を手がけるアーティスト磯辺行久さんが、この芸術祭のために企画し、出展する「偏西風」という作品の制作において、当社のGPSラジオゾンデIMS-100が利用されました。

珠洲市内7か所の小中学校の運動場から、小中学生がメッセージをつけた風船を飛ばすと同時に、ラジオゾンデを放球しました。企画された作品は、珠洲市から飛ばした風船が偏西風に乗って飛んだ飛行ルートを検証して、その結果とラジオゾンデの観測データを地図上に落とし込み、作品に仕上げていくとのことでした。

明星電気の製品が芸術作品にも利用されることになり、作品の完成を楽しみにしています。

(担当: 気象防災事業部、関西支店)

【文中: 敬称略】

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。